



予選レポート

2026/4/4 Rd-1 モビリティリゾートもてぎ

天候：曇り 気温：10℃ 出走台数：24台

2026 シーズン スーパーフォーミュラは昨シーズンに続き、予選と決勝を土曜日と日曜日にそれぞれ行う、「1大会2レース制」で開催されるが、今シーズンは土日共にピットウィンドウと、レース距離が同一となっている。

また、例年8月に開催されていた茂木戦が4月開幕戦となったことと、予選日の不安定な天候が相まって、比較的涼しい時期のもてぎ攻略がポイントとなりそうだ。

ノックアウト第1予選、A組の牧野選手は、昨日のフリー走行のデータをもとに、コース全周が再舗装された路面に対応するため、3周回のウォームアップの後アタックに入る。

牧野選手は第2セクターでベストタイムを記録して2位で第2予選へ進む。

第1予選B組の太田選手は、牧野選手からのフィードバックをベースに、2ウォーム、1アタックの後のもう1周クールダウンして最後に再度アタックするプランでコースに入った。太田選手は第1セクターを除くすべての区間でベストタイムを記録して首位で第2予選へ。続く第2予選も、2台は2ウォーム、1アタック、1周クールダウン再度アタックのプランでコースイン。

牧野選手はアタックラップの1コーナーでタイヤをロックさせてしまい。フラットスポットによる振動が出てタイムを上げられず11位。

太田選手は1度目のアタックで首位タイ位を記録するが、前半区間で岩佐選手が上回り2位となり、フロントロウから開幕戦を迎えることとなった。

5：牧野任祐 選手 予選10位 (第1予選A組2位 第2予選10位)

昨日とコンディションが大きく変わる中、予選戦略は手探りな部分もありましたが、第1予選を2位通過し、第2予選では戦略も変えてアタックしました。1回目のアタックで右フロントをブレーキロックさせてしまい、その後もプッシュしましたが、振動が出たためタイムアップできませんでした。感覚的には2列目スタートポジションは行けると思っていたので残念ですが、雨のレースになりそうですし、決勝は気持ちを切り替えてポジションを取り返したいです。

6：太田格之進 選手 予選2位 (第1予選B組1位 第2予選2位)

これまでのもてぎと違い、新しい路面と低い気温へのセットアップの合わせこみも難しく少し不安もありましたが、チームが素晴らしい戦略とマシンを用意してくれたおかげで、開幕戦をフロントロウからスタートできます。天候は心配ですが、最高のスタートを決めてもてぎ開幕戦を優勝で終えたいです。